

柳川町長「表現の自由に対する規制に危機感」

メディア規制法を考える市民の集いに130人



「メディア規制法を考える市民の集い」が5月22日、名古屋市中区の名古屋市ライブララザで開かれ、会場を埋め尽くす130人が集まりました。呼びかけたのは、在名の報道関係者などで作る「マスコミ夜塾」や「市民とメディア研究会・あくせす」など4団体で、実行委員会には愛労連も参加しました。

元NHK解説委員で現在、岐阜県御嵩町長の柳川喜郎氏は、「表現の自由に対する規制に危機感を持っている」として、海外特派員時代に東南アジアの軍事政権下で30行の原稿が検閲によって3行に削られた体験を紹介し、「言論の自由は失われて初めてその大切さがある。国家によるメディア規制は大いに問題」と話しました。しかし一方で、「野放図な取材も見受けられる」と報道する側の常識ある対応も求めました。

また、日本弁護士連合会情報問題対策委員会副委員長長の杉浦英樹弁護士は、「法案に関する報道が取材活動のみに焦点があてられている」と批判し、「国民生活の具体的な規制についても報道しなければならない」と指摘しました。

ストップ・ザ 有事法制! 憲法9条を守る
6.2 愛知県民集会

有事法制反対で日本共産党・社会民主党・新社会党が共同

集会にはこぞってご参加を!

とき 6月2日(日) 13時から

ところ 白川公園(名古屋市中区)

有事法制に反対する声が高まる中、政党レベルでの共同も広がっています。5月22日には、3党の国会議員や代表が介して有事法制阻止と小泉内閣退陣を訴えました。



働くルールで雇用危機打開へ 全労働愛知支部が働くルールアクションを実施

全労働愛知支部は5月11日、買い物客などでにぎわう名古屋市中区の栄一帯において、「働くルール(WR)アクション」と銘打った署名宣伝行動にとり組み、同支部の組合員72名が参加しました。

全労働は、労働局や労働基準監督署、ハローワークなどで働く仲間の組合です。「大企業の無法なリストラや不況で非自発的離職者が増えている。失業率も史上最悪のもとで、解雇規制法やサービス残業の根絶はどうしても必要。働くルールの専門家として大いにがんばりたい」と語るのは同支部の市川浩支部長。「毎日、職安は職を求める人でごった返し、監督署も次々に寄せられる相



談や申告で必死の状況なのに、今年度は全国で100名の職員が削られた。労働者のみなさんの要望に応える仕事をするためにも職員の増員が必

要です」と話していました。

行動では、2種類の署名にとり組み、働くルール署名450筆、職員の増員要求署名252筆が寄せられました。

住民の足下からくらしと 地域社会を考えよう

合併協議会設立を求める住民直接請求署名運動がおこなわれるなど、合併推進の動きが活発な碧海5市(安城市、刈谷市、碧南市、知立市、高浜市)の合併問題を考えるシン

碧海5市合併問題シンポに200人

ポジウムが5月19日、知立市中央公民館で開かれ200名が参加しました。主催したのは、あらためて合併問題を考えようとして労働組合や民主団体によって結成された碧海5市合併問題を考える会です。

問題提起をおこなった自治体問題研究所の池上洋通氏は、「合併を考えるのは、地域社会をどうするかということであり、ふさわしい自治体の

大きさ、地域と住民生活のあり方から考えることが大切」と訴え、国の押しつけ合併制作を痛烈に批判しました。

パネリストには各市の住民や高浜市の総務部長なども加わり論議を交わしました。

会場参加者からは「市民は何も知らないのに合併話が進んでいておかしい」「『合併で市職員を減らすことができる』など、職員減らしの論議ばかりの気がする」などの発言が出されました。



第12回裁判勝利をめざす全国交流集会に参加して

全国の闘う仲間が結集し交流しあう第12回裁判勝利をめざす全国交流集会(主催 全労連、自由法曹団、救援会)が4月21から22日、熱海の大月ホテルで開催された。

30都道府県から213名(64事件)、愛知からは15名が参加。会場は熱気ムンムンであった。団体生命保険裁判、住軽金強制出向争議、SMキエ争議、萱津争議、ダイコー争議、勝利した鈴木過労死事件、知多教組、愛労連、愛知争議団、救援会の面々。全体集会では、主催者を代表して自由法曹団団長の宇賀神直弁護士が「経験、知識を豊かにし、自らの闘いに生かす」「成功、失敗を話し合い、元気をもらう」「裁判官を飛躍させる」「闘いも人生の一つ。始めあれば終わりがある。気楽にやることも大切」と挨拶した。ハンセン病国賠訴訟全国原告団の笹雄二さんの特別報告では、国の非人間的扱いに命をかけての闘いに参加者一同胸をえぐられた。

その後、7つの分科会に別れて交流。私は不当労働行為・配転・差別の分科会に参加した。



小林克信弁護士から白木屋闘争について「女工哀史的労働条件改善に3名の女性組合員は3年間の無期限ストで闘い勝利をかちとった。会社がいやがる事はやり尽くした」と報告、その後各争議団からの報告の一つひとつ討論があった。

私はこの集会に毎年参加して来たが、労働諸事件の勝利をかちとるエキスをもらったことを思いおこした。愛知でももっと沢山の労組、自由法曹団の参加が望まれる。

(愛知争議団事務局長 渡辺三千夫)

全国のたたかいに励まされて **建交労萱津分会**



萱津運輸(甚目寺町)は、谷俊一郎社長が経営する生コン製造会社「谷建材」の輸送部門。

サービス残業、昼食時間もない、業務外の仕事の強要など違法行為のデパートで、これに耐えかね津島労働監督署に相談するとともに労働組合を2000年11月に結成しました。

2001年2月、この動きを察知した谷社長は突然「従業員との信頼関係がなくなったので萱津運輸を身売りする」と言い出し、更に「私は運輸

を経営する能力がない」と繁忙を極めていた萱津運輸を4月に閉鎖、従業員を全員解雇するという暴挙に出ました。会社は、廃業直前に非組合員で新たに会社を作り、従来と変わらない生コン輸送をしています。これは、明らかに「組合つぶしを目的とした偽装閉鎖・解雇・組合員排除」の攻撃です。2001年9月には、建交労谷建材・萱津分会支援共闘会議を結成し、法廷闘争と同時に社会的包囲行動にとりくんでいます。

第12回裁判勝利をめざす交流集会に参加しましたが、リストラ攻撃のなかで多くの労働者がたたかい、また刑事事件、冤罪事件では国家権力とたたかっている厳しい報告を聞き、ますます「頑張らねばならない」との意気に燃えて帰りました。みなさん、一層のご支援・ご協力をお願いします。

(建交労萱津分会 長谷川親司)

あいち争議団ニュース

NO. 21 愛知争議団連絡会事務局

スケジュール

2002年5月

■31日(金)
 平和行進愛知入り／新所原～桜丘高校
 (12:15～湖西西部公民館前広)

2002年6月

■1日(土)
 平和行進／豊橋～蒲郡
 (8:15～豊橋市役所)
 住友電設鈴木過労死裁判勝利報告集会
 (18:00～一宮勤労福祉会館)

■2日(日)
 平和行進／岡崎～安城
 (9:30～岡崎市役所)
 ストップ・ザ・有事法制6.2愛知県民集会
 (13:00～白川公園)

■3日(月)
 平和行進／知立～刈谷
 (9:30～知立市役所)
 平和行進／豊田
 (18:00～豊田市役所)
 愛労連四役会議
 (14:00～愛労連会議室)

■4日(火)
 平和行進／常滑～東海
 (8:30～常滑市役所)

■5日(水)
 平和行進／瀬戸～守山
 (9:00～瀬戸・宮川モール)
 心の健康学校(トヨタ過労自殺裁判から学ぶ)

(18:30～ 労働会館本館2F会議室)

■6日(木)
 平和行進／名古屋～岩倉
 (8:15～名古屋市役所)
 愛労連単産組織担当者会議
 (13:30～労働会館本館)

■7日(金)
 平和行進／津島～稲沢
 (9:00～津島市役所)

■8日(土)
 平和行進／小牧～春日井(幹線コース)
 (9:00～小牧市役所)

■9日(日)
 平和行進／中村～若宮広場(幹線コース)
 (9:00～中村公園)
 第6回愛知に働くホームヘルパーのつどい
 (10:00～労働会館東館ホール)

■10日(月)
 平和行進／一宮～木曾川
 (9:00～一宮市役所)

■11日(火)
 平和行進岐阜引き継ぎ／江南～各務原
 (8:30～名鉄江南駅)
 東海地方・郵政公社を考える会第2回総会
 (18:30～労働会館本館2F会議室)

■12日(水)
 愛労連第22回幹事会
 (13:30～労働会館本館第1会議室)

■13日(木)
 愛労連リストラ対策委員会
 (15:00～愛労連会議室)

■15日(土)
 愛労連第2回評議員会
 (13:30～労働会館東館ホール)

■18日(火)
 愛労連組織強化検討委員会
 (13:30～愛労連会議室)

■21日(金)
 愛労連財政担当者会議
 (18:30～愛労連会議室)

■22日(土)
 愛労連婦人協第13回定期総会
 (13:00～労働会館本館2F会議室)

月刊全労連

6月号

編集・全労連

毎月15日発行・定価500円(〒76円)
 年間購読料●6912円=(税込
 定価500円+送料76円)×12回

■新世紀の視点
 いま、なぜ「有事立法」か
 ジャーナリスト 丸山重威

■特集 中小企業労働運動
 不況にあえぐ中小企業と労働運動
 の課題 法政大学教授 相田利雄

＜単産の運動＞
 建交労/JMIU/全労連・全国一般
 全印総連/全信労

■労働委員会民主化闘争
 <中労委労働者委員候補の決意>
 MIC議長 今井一雄/国公労連顧問 藤田忠弘
 <地労委労働者委員として活動して>
 埼玉 見玉捷之/大阪 徳山重次/高知 田口朝光

■単産・地方組織 教育担当者会議
 全労連事務局長 坂内三夫/労教協会長 辻岡晴仁
 <単産の教育活動> 建交労/日本医労連/国公労連

■STOP!有事法制 4・19 大集会
 有事法制止めるために連携を

航空安全会議議長 大野剛行

編集・発行 全労連 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL03-5842-5611
 お申込みは→発売元 学習の友社 TEL03-5842-5641 FAX03-5842-5645